

はなだより

とむろ

第7号



半年を振り返り...

前安村理事長の記念としてエゴノキが
安村典子理事より寄贈、その植樹式の風景。

ここ「はなの家とむろ」も開設よりおかげさまで半年がたちました。振り返りますと初めの3か月は入居者様も環境の変化に慣れず、職員もユニットケアの理想と現実のギャップに戸惑いながらの毎日でした。その上開設が寒い時期だったこともあり、入居者様だけでなく職員も体調を崩す者も多く、様々なことが起こり試行錯誤の半年でした。

さくらの花の季節になると、やっと入居者様、職員ともに気持ちの落ち着きがみられ、生活の流れを感じられるようになってきました。特に、看取りケアの経験では、入居者様・ご家族と一緒に静かな最後を迎えるための支援という貴重な体験から、やりきった満足感が感じられます。

ユニット型の施設は個人を大切にす一方で、効率性から見ると工夫が必要なところも多くあります。そのため、施設の中で工夫をし、自施設のスタイルを築いていく必要があると感じています。ユニット型施設でのより良いケアは専門職の介護と看護が連携し、互いに協働することが重要と考えています。今後も職員一同の知識・技術のレベル向上に努めてまいります。

施設理念である①その人らしい自律した人生を支える施設、②地域と共に歩む運営、③仕事に誇りと責任を持つ職員、を念頭に前進していきます。「はなの家とむろ」を快く受け入れてくださいました地域の皆様へ感謝しながら、地域の皆様と交流を深めて参ります。今後の法人の発展のためにも皆様の忌憚のないご意見をいただきたくお願い申し上げます。

社会福祉法人 康仁会 理事長 中村美千子



部署紹介～栄養科

こんにちは、はなの家とむろの栄養科です…といっても、所属するのは管理栄養士1名のみです。どうやら管理栄養士のイメージは「献立をたてる人」のようなのですが、当施設では、献立作成・調理等の給食管理の業務は日本ゼネラルフード株式会社に委託しています。献立に関して行っているのは、組み合わせや栄養バランスが偏っていないかのチェック、食事制限のある方への調整を指示くらいです。



管理栄養士
新井 典子

ではどんな仕事をしているのかというと…

- 咀嚼や飲み込みの状態にあった食事形態の検討、食事介助方法のアドバイス
 - 健康を維持するためにどのくらいの栄養が必要かの検討
 - 今、食べている量で過不足はないかの確認
- …等々、おもに栄養管理の業務を行っています。

食事を作り配膳するところまでが給食管理、その食事を食べてから健康状態がどうなるかまで確認するのが栄養管理、と考えると分かりやすいでしょうか。

歳を重ねると、今まで簡単に出来ていたことが難しくなる場合があります。「食べる」という行為も徐々に難しくなるかもしれません。栄養科は、1日でも長く「食べる楽しみ」を続けていただけるよう、サポートしていきます。



七夕メニュー

鮭の混ぜ寿司・そうめんの澄まし汁
星型クロquette・オクラの和え物
フルーツ盛り合わせ



しょうゆラーメン・餃子
春雨サラダ・杏仁豆腐

ありがとう ございました。

次の方々からご寄付をいただきました。
施設の発展のために、大切に使用させていただきます。
心より御礼申し上げます。

安村 典子 様
斉下 ミネ 様

特別養護 老人ホーム はなの家とむろ

〒243-0031 神奈川県厚木市戸室5-9-15
TEL.046-225-8787 FAX.046-225-8711
URL:<http://koujinkai.toumei.or.jp/>
E-mail:tokuyo-info@tomei.or.jp

笑顔添えて
心に寄り添うところ

●編集後記●

暑い夏がやってきましたね。夏バテしないように気をつけていきましょう。
私は今年の夏も大好きな梨をたくさん食べて乗り切ろうと思います。皆さんは、夏の果物といえば何が好きですか…？！





社会福祉法人 康仁会 平成23年度 事業報告

平成22年7月に法人設立認可、平成24年1月に開所してから半年が経ちました。社会福祉法人は、法人の意思最高決定機関として理事会・評議会を設置することとされており、ここで予算・決算をはじめとした重要事項を討議していきます。去る5月26日に行われた理事会・評議会においては、理事会は全員出席、評議会は12名の出席により、平成23年度の事業・収支決算について承認いただきました。また、4月から開始となった通所介護部門の有効な運営や、オンブズパーソン、ボランティアの受け入れなど、よりよい施設運営や利用者の生活の充実につながるような案件まで幅広く活発な意見交換が行われました。



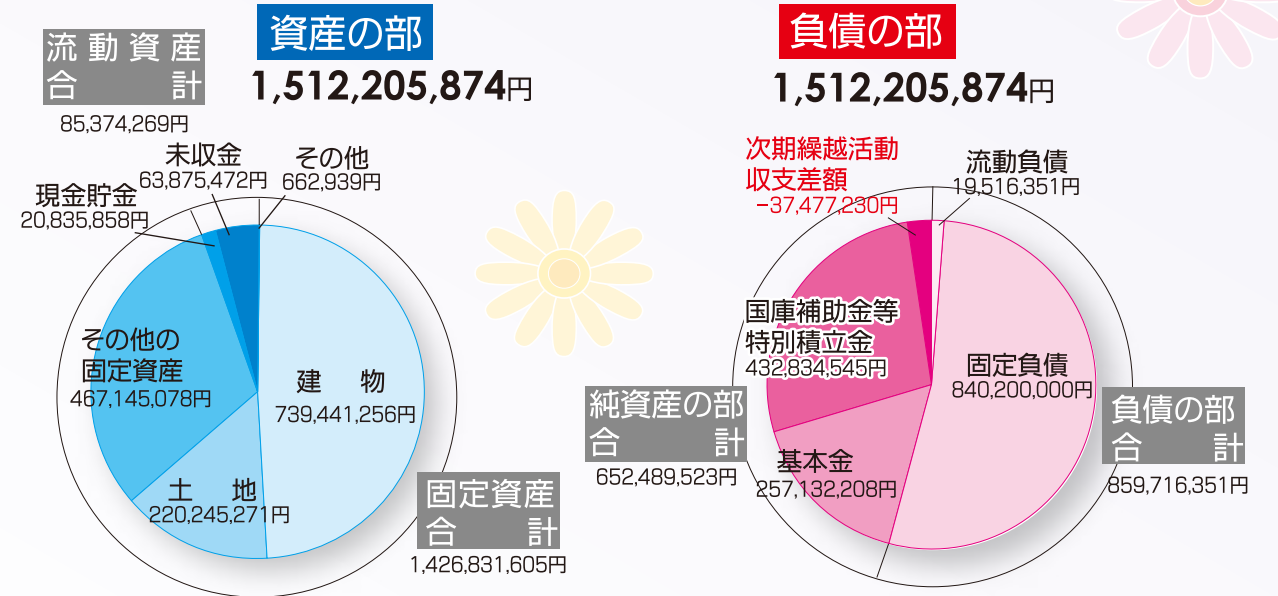
収支活動報告

収支計算書

(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

勘定科目		予算	決算	差異	
経常活動による収支	収入				
	介護保険収入	52,200,000	84,696,798	32,496,798	
	経常経費補助金収入	0	36,392,007	36,392,007	
	寄附金収入	1,350,000	1,420,765	70,765	
	雑収入	1,056,825	2,648,966	1,592,141	
	受取利息配当金収入	0	14,303	14,303	
	経常収入計(1)	54,606,825	125,172,839	70,566,014	
支出	人件費支出	90,800,000	89,594,354	-1,205,646	
	事務費支出	25,484,520	39,310,331	13,825,811	
	事業費支出	23,948,416	26,609,851	2,661,435	
	借入金利息支出	7,407,000	8,162,608	755,608	
		経常支出計(2)	147,639,936	163,677,144	16,037,208
	経常活動収支差額(3)=(1)-(2)	-93,033,111	-38,504,305	54,528,806	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	418,700,000	436,099,837	17,399,837	
	固定資産売却収入	2,850,759	3,542,472	691,713	
		施設整備等収入計(4)	421,550,759	439,642,309	18,091,550
支出	固定資産取得支出	1,095,868,039	1,079,830,477	-16,037,562	
		施設整備等支出計(5)	1,095,868,039	1,079,830,477	-16,037,562
	施設整備等収支差額(6)=(4)-(5)	-674,317,280	-640,188,168	34,129,112	
財務活動による収支	収入				
	借入金収入	802,800,000	698,000,000	-104,800,000	
		財務収入計(7)	802,800,000	698,000,000	-104,800,000
	支出	借入金元金償還金支出	52,000,000	0	-52,000,000
		財務支出計(8)	52,000,000	0	-52,000,000
	財務活動収支差額(9)=(7)-(8)	750,800,000	698,000,000	-52,800,000	
	予備費(10)	0	—	—	
	当期収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-16,550,391	19,307,527	35,857,918	
	前期未支払資金残高(12)	46,550,391	46,550,391	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	30,000,000	65,857,918	35,857,918	

貸借対照表 平成24年3月31日現在

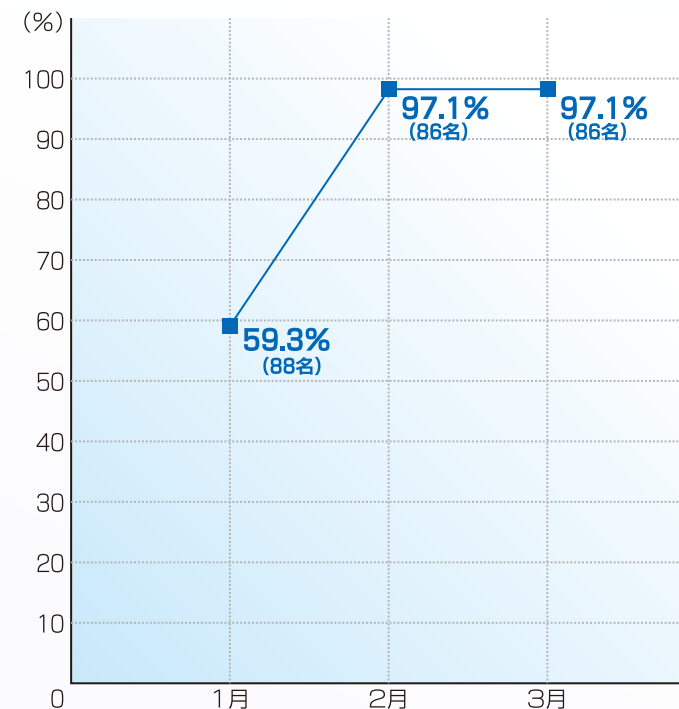


利用者動向

入居者内訳

月	入居者の男女比率・在住地比率	平均介護度	認知症自立度Ⅲa以上
1月	男性32% 女性68%	3.74	61名
	市内76% 市外24%		
2月	男性29% 女性71%	3.71	64名
	市内76% 市外24%		
3月	男性25% 女性75%	3.72	62名
	市内72% 市外28%		

入居率及び月末在在所者数



退所者動向

	死亡	医療機関	自宅
H24年1月	0	0	0
H24年2月	1	3	0
H24年3月	2	1	0

職員動向

H24.6.1現在

職種	配置人数		法定数	
	常勤	パート		
介護職	入居・ショート	47名	12名	36名
	ティサービス	3名	3名	2名
看護職	4名	4名	3名	
リハビリ	2名	0名	2名	
管理栄養士	1名	0名	1名	
生活相談員	3名	0名	2名	
事務	3名	0名	—	
その他	0名	6名	—	
合計	90名*			

*理事、施設長を含む合計